



保健委員会で活動中の児童（4月10日）

1年生

小学校生活が始まりました



給食初日のメニューはカレーライスでした。ペロリと完食しました。（4月16日）

西山台



長崎市立
西山台小学校
文責 校長 伊藤

学校の顔として活躍中

高学年、頑張ってます

新年度が始まり、高学年の活躍に目を見張ります。入学式準備では、翌日に入学する一年生が気持ちよく式に参加できるように進んで会場設営をしました。学校をよりよくするための委員会活動では、自分の役割を自覚し、友達と

協力しながら黙々と仕事に取り組んでいます。地区リーダーは事前研修会を行い、集団下校が成功するように準備を進めていました。この他にも、困っている後輩がいると声をかけたり、挨拶の手本になったりして、一人一人が

4月9日は入学式でした。大きなランドセルに夢と希望と家族の期待をたくさんつめて、17名の一年生が元氣よく登校しました。これまでと異なる環境で戸惑うこともあったと思いますが、「今日から小学一年生」という気持ちで勝り、座り方や話の聞き方が大変すばらしかったです。

式は、一年生の堂々とした入場が始まりました。

校長の式辞では、「自分の力をぐんぐん伸ばすこと、友達に優しくすること、学校のルールを守ることを通して、人から好かれる人になるようにしましょう。」と話しました。

田中育友会会長からは、「学びいっぱい、やさしい、元気いっぱい、学校生活を楽しんで過ごしましょう。」

「自分のために」「仲間のために」「学校のために」という思いで活躍しています。

「六年生の姿を見るとその学校の様子がわかる」と言われています。つまり、六年生は学校の顔なのです。

西山台小学校がさらに「よい学校」になるために、できることに積極的に挑戦する高学年に期待をしています。

西山台小育友会

4月14日、西山台小育友会理事会に参加しました。13名の理事さんが集合し、育友会総会やこれからの育友会活動等について協議しました。

『子どもたちのための育友会』『保護者が楽しめる育友会』『学校を盛り上げる育友会』を創っていく！という思いを持って参加されているので、それぞれの発言に重みがあり、納得することばかりでした。西山台小学校の育友会のやる気を感じました。

家庭・地域・学校の教育にはそれぞれの役割がありますが、連携することで成果を2倍にも3倍にもすることが出来ます。まずは、育友会と学校が手を合わせて、協力していきましょう。よろしく願いいたします。

校長室から

本校児童は、前庭が大好きです。登校すると真っ先に池に行き、メダカやオタマジャクシの確認をする児童がいまいます。児童玄関のツバメに挨拶をする児童もいます。休み時間は、切り株に座ってのんびりしたり、自然の中を歩き回ったりして心を落ち着かせる児童もいます。天気の良い日に外で出てみると、そこにいる子どもたちと世間話で盛り上がりそうです。それぞれの方法でリラックスできる西山台小学校の自然を大切にしていきたいと思いました。